

平成30年 第3回臨時会

西川町議会会議録

平成30年11月12日 開会

平成30年11月12日 閉会

西川町議会

平成30年西川町議会第3回臨時会会議録目次

| | |
|------------|----|
| 議事日程 | 1 |
| 出席議員 | 2 |
| 欠席議員 | 2 |
| 説明のため出席した者 | 2 |
| 事務局職員出席者 | 2 |
| 開会の宣告 | 3 |
| 開議の宣告 | 3 |
| 会議録署名議員の指名 | 3 |
| 会期の決定 | 3 |
| 議会諸報告 | 3 |
| 町長あいさつ | 5 |
| 議案の上程 | 10 |
| 提案理由の説明 | 10 |
| 議案の審議・採決 | 11 |
| 閉議・閉会の宣告 | 14 |
| 署名議員 | 15 |

平成30年西川町議会第3回臨時会

議事日程(第1号)

平成30年11月12日(月)午前9時30分開会・開議

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 議会諸報告

日程第 4 町長あいさつ

日程第 5 議案の上程

議第 52号 平成30年度町道沢口向中岫線道路改良工事請負契約の一部変更について

議第 53号 平成30年度西川町一般会計補正予算(第5号)

議第 54号 平成30年度西川町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

日程第 6 提案理由の説明

日程第 7 議案の審議・採決

議第 52号 平成30年度町道沢口向中岫線道路改良工事請負契約の一部変更について

議第 53号 平成30年度西川町一般会計補正予算(第5号)

議第 54号 平成30年度西川町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

(閉会)

出席議員（10名）

| | | | |
|----|--------|-----|--------|
| 1番 | 大泉奈美議員 | 2番 | 大江広康議員 |
| 3番 | 佐藤耕二議員 | 4番 | 飯野咲子議員 |
| 5番 | 佐藤幸吉議員 | 6番 | 奥山敏行議員 |
| 7番 | 青山知教議員 | 8番 | 宮林昌弘議員 |
| 9番 | 古澤俊一議員 | 10番 | 伊藤哲治議員 |

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

| | | | |
|--------------------|--------|--------|-------|
| 町長 | 小川一博君 | 副町長 | 高橋勇吉君 |
| 教育長 | 伊藤功君 | 総務課長 | 佐藤俊彦君 |
| 政策推進課長 | 土田伸君 | 町民税務課長 | 飯野勇君 |
| 健康福祉課長 | 奥山純二君 | 産業振興課長 | 工藤信彦君 |
| 商工観光課長 | 志田龍太郎君 | 建設水道課長 | 伊藤潔君 |
| 会計管理者 兼 出納室長 | 松田眞知子君 | 病院事務長 | 松田憲州君 |
| 学校教育課長 | 安達晴美君 | 生涯学習課長 | 片倉正幸君 |
| 農委事務局長 | 荒木俊夫君 | 監査委員 | 高橋將君 |

事務局職員出席者

| | | | |
|--------|-------|------|-------|
| 議会議務局長 | 白田真也君 | 議事係長 | 佐藤尚史君 |
| 書記 | 飯野奈緒君 | | |

〔開会時刻 午前 9時30分〕

開会の宣告

伊藤議長 おはようございます。

ただいまの出席議員は全員です。

定足数に達しておりますので、これより平成30年西川町議会第3回臨時会を開会します。

開議の宣告

伊藤議長 ただちに、本日の会議を開きます。

会議録署名議員の指名

伊藤議長 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第124条の規定により、議長において、4番 飯野咲子議員、5番 佐藤幸吉議員を指名します。

会期の決定

伊藤議長 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期について、議会運営委員会の協議結果に基づき、本日1日限りにしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

伊藤議長 異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は、本日1日限りと決定しました。

議会諸報告

伊藤議長 日程第 3、議会諸報告を行います。

議長報告を行います。

9月26日、村山地方町村議会議長会主催の議員合同研修会が中山町で開催され、本町議会の議員9名が出席いたしました。研修会では、地方議会のあり方について、北川正恭早稲田大学名誉教授から講演をいただき、研修してまいりました。

10月4日、5日には、最上・村山両地方町村議会議長会合同会議が山辺町で開催されました。会議では、「広がる新聞による学び」と題して、山形新聞社論説副委員長の青塚晃氏から講演をいただき研修するとともに、皇室や各地の名だたる施設の絨毯等を製作し、世界的に名の知れたオリエンタルカーペット株式会社を視察してまいりました。

10月16日には、山形県町村議会議長会主催の議員研修会が山形市で開催され、本町議会の8名の議員が出席いたしました。研修会では、「限界集落の真実、人口減少時代における地域再生」と題して、山下祐介首都大学東京准教授から、「どうなる、政治・経済の展望」と題して平井文夫フジテレビ報道局上席解説委員から、それぞれ講演をいただき、研修をしてまいりました。

10月22日には、山形県主催の市町村長及び議長を対象とした県・市町村行政懇談会が県庁講堂で開催されました。懇談会では、県政運営の基本的考え方や市町村関連施策などの説明があり、その後、意見交換が行われました。

10月25日、26日には、置賜・村山両地方町村議会議長会合同研修会が小国町で開催されました。研修会では、白い森小国の教育、わくわくブランド構想について小国町教育振興課長渋谷洋司氏から、保小中高一貫教育の取組について説明を受けるとともに、木材をふんだんに使用し温もりのある小国小学校を視察してまいりました。

11月9日には、大江・西川両町議会議員協議会総会、及び研修会が西川町で開催され、本町議会の9名の議員が出席いたしました。総会では、主要地方道貫見間沢線の沼山地内の改良促進、同じく大江西川線の大井沢地内の雪崩防止対策促進などの県への要望事項を決定いたしました。総会終了後、研修会が開催され、「湯殿山信仰と道智通り」と題して、長く西川町郷土史調査員を務められ、現在寒河江市史編纂委員、文化財保護委員の那須恒吉氏からご講演をいただきました。

最後に、行政視察研修のため来庁されました議会について報告いたします。

9月28日、熊本県南小国町議会の皆様が来庁をされました。

議員 9 名と事務局職員 1 名、随員職員 1 名の計 11 名が来庁され、総合産業基盤強化プロジェクトの取り組み、西川まち自慢運動の取り組み等について、本町議会の産業建設常任委員会委員と意見交換を行いました。

以上、議長報告といたします。

以上で議会諸報告は、終わりました。

町長のあいさつ

伊藤議長 日程第 4、町長からあいさつの申し出がありますので、これを許します。

小川町長。

〔小川一博町長 登壇〕

小川町長 おはようございます。

本日、平成 30 年第 3 回臨時会を招集いたしましたところ、全員のご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

はじめに、町長と語る会、地域座談会についてご報告申し上げます。

平成 30 年度の町長と語る会につきましては、9 月 18 日から 11 月 2 日までの期間に 16 会場で実施いたしました。ご出席いただきました多くの町民の皆さんに感謝申し上げます。今年度の総参加者数につきましては 342 名で、多くの町民の皆さんと町の状況について語り合い有意義な会となりました。いただきましたご意見につきましては、内容を検討し今後の町づくりに活かしてまいりたいと思います。なお、町長と語る会の内容につきましては、12 月号の町報に掲載いたします。

また、団体と町長と語る会ではありますが、各種団体との座談会につきましても、これまで区長会や芸術文化協議会、民生児童委員協議会と実施しておりまして、今後さらに、認定農業者会などと実施することとしております。

次に、10 月 14 日に開催されました、まるごとにしかわ三山まつりについてご報告申し上げます。

5 回目の開催となります今回は、道の駅にしかわ、名水公園を会場に、月山のふもとで楽しもう、繋がるう、人、心、うまいものをテーマに、地酒、地ワイン、地ビールまつり、

宮町商店街からもご参加いただいた三ツ星うまいものフェス、新たな町民参加型イベントとしての西山杉木こりんピックの3つの企画を柱として各種イベントが展開されました。

オープニングセレモニーに引き続き、吉川権現太鼓、海神會と水龍會による神輿渡御が行われ、威勢よく祭りのスタートが切られました。特に今回は、新たな商品として期待されます地ビール豚の紹介、試食や、本町がホストタウンとなりました2020年東京オリンピックカーヌー競技のモルドバ共和国のピーアールが行われたほか、三山音頭の普及拡大のためのレクチャーや披露、歌手の緒形リアさんによるライブ等、多彩なイベントが開催されました。

当日は晴天にも恵まれ、国道を通る観光客の来場もあり、昨年を大きく上回る入れ込み数となりました。祭りの開催にご協力いただいた多くの関係者に感謝を申し上げます。今後とも、皆さんからのご意見等をもとに、実行委員会で検討を重ね、町民が楽しめる秋のイベントを創り上げてまいりますので、ご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

次に10月21日に実施いたしました平成30年度西川町総合防災訓練についてご報告申し上げます。

本訓練は、毎年町内各地区を巡回し実施しており、今年は睦合地区での開催となりました。当日は睦合区民や消防団など130名を超える参加者のもと、消防団員による火災防御訓練や睦合地区自主防災組織が中心となった住民参加による避難訓練、応急処置訓練、初期消火訓練などを行い、地域住民の防災意識の高揚を図ったところであります。応急処置訓練につきましては、女性消防隊が指導にあたり、その丁寧な指導内容に住民から感謝の声がありました。非常食であるアルファ米についての説明も実施いたしましたところであります。

特に総合避難訓練においては、睦合地区に豪雨による土砂災害警戒情報が発令されている中、大規模地震が発生したという想定のもと、睦合地区に避難指示を発令し、区民が睦合公民館へ避難する訓練を行いました。自主防災組織が主体となり、避難経路や避難場所、また安否確認などを実施したところであり、有意義な訓練でありました。

自主防災組織におきましては、自分たちの地区は自分たちで守る精神のもと、また、その活動が各地区で展開されており、今年度の町長と語る会において災害対応について説明し、自主防災組織の活動、訓練の重要性を呼びかけたところであります。

次に、今年度の新嘗祭の献穀献納式についてご報告申し上げます。

五穀豊穰を感謝する宮中の行事、今年度の新嘗祭への献穀につきましては、ご承知のとおり、本町の精米及び精粟を献上することになりまして、吉川の高橋春二さんが米を、同じく吉川の工藤正章さんが粟の栽培をお引き受けいただき、誠心誠意それぞれの作物の栽培にご尽力をいただきました。今年は例年になく異常気象の中ではありましたが、両名の長年の経験と本町を代表する卓越した栽培技術によりまして、その難局を乗り越えていただき、見事な吉川のブランド米つや姫、そして粟の虎の尾を収穫いただきまして、去る10月22日に、皇居におきまして無事、献納式を終えることが出来ました。

献納式には、高橋春二さん、工藤正章さんご夫妻、随伴者としまして、駒林県農林水産部長、鈴木西村山農業技術普及課長、そして私の7名によりまして、天皇、皇后、両陛下に拝謁し、献納いたしました次第であります。両陛下へは、東北3県を代表し、駒林県農林水産部長が今年の作柄などを奏上し、天皇陛下からは、栽培の苦勞をねぎらう暖かいお言葉をいただき、献穀者の両ご夫妻も、大変感動いたしました。

この度の新嘗祭献穀に関しましては、献穀者の高橋さん、工藤さんご夫妻のご労苦に対し心から感謝申し上げますとともに、議会をはじめ、県、JAさがえ西村山農協、寒河江警察署、そして地元吉川地区の皆さんなど多くの方々より多大なるご支援、ご協力をいただきましたことに対しまして、心から御礼を申し上げます。

次に10月27日に開催されました、西川のまちづくり応援団ふるさと植樹祭、交流会についてご報告申し上げます。

応援団設立22年目を迎えた交流会には、関東ブロック及び東北ブロックの団員36名、一般町民の方や旧世話人会の方が21名、地元交流推進委員会の方々10名、町関係者が30名、計97名の参加者をいただいた開催となりました。交流会につきましては、交流センターあいべにおいて、西川のまちづくり応援団の方々と町民との交流をさらに進めるため、9月に発足いただきました、町内12名の交流推進委員会の方々が主体となり開催をいただきました。

開催に際し、伊藤議長からも歓迎のごあいさつをいただくとともに、月山朝日観光協会の女将の会の代表の方々による乾杯後、関東、東北両ブロック代表の方からごあいさつをいただいたところであります。また、新たに組織いただいた交流推進委員会の高橋会長からは、これまで町内の交流を一手に担っていただいていたまいりました、旧世話人会の方のご尽

力に感謝と御礼、さらには新たな交流の取組みについての想いについて、ごあいさつがあったところであります。

例年、関東、東北両ブロックからいただいております植樹につきましては、沼山、原地域づくり委員会で取り組んでおります、旧沼山小学校跡地の公園整備に併せ、江戸彼岸桜と御衣黄桜、各1本の贈呈をいただき、交流会の中で、両地区の代表の方に目録の贈呈が行われたところであります。また、今年度は、地酒、地ワイン、地ビールのほか、新たに吉川地区のかわどい亭の方々に料理をご担当いただき、地元食材を数日かけて丹精込めて調理した地元料理の芋煮は大好評でありました。

久しぶりの再会に会話を弾ませながら、町づくり応援団の意義と存在を相互に確認し、今後も共にふるさと西川の町づくりに取り組んでいくことを誓い合うことができた交流会になりました。当日ご参加いただきました議員各位に、この場をお借りいたしまして、改めて御礼を申し上げます。

次に、第83回西川菊まつりについてご報告申し上げます。

西川菊まつりは、交流センターあいべ駐車場に特設会場を設け、10月25日から11月8日までの15日間にわたり開催されました。今回も、三山重陽会の皆さんによる大菊、盆栽、懸崖や、間沢区、海味区、西川小学校4年生、町議会議員、菊人形づくり愛好会による玉菊など、昨年を上回る621鉢の見事な菊の花が出展、展示されました。さらに、菊づくり後継者の育成を目的に実施しました菊づくり講習会の受講生の作品44点、企業菊28点も展示され、会場を盛り上げていただきました。また、会場内には、菊人形づくり愛好会によるNHK大河ドラマ西郷どんの一場面が菊人形で再現され、入場者の目を楽しませておりました。

11月3日には、今回初めての菊花鑑賞会が開催され、三山音頭の披露に続き、三山重陽会の皆さんからの内閣総理大臣賞をはじめとした受賞菊や花の見どころ、菊づくりの魅力等についてご紹介いただきましたが、本町の高い菊づくり技術や菊花の素晴らしさ、菊づくりの奥深さ等について改めて実感する機会となりました。まつり期間中の来場者は、昨年を上回る3,229名となったところでありますが、開催にあたりご協力いただきました多くの関係者の皆さんに厚く感謝申し上げます。

今後とも、菊づくり講習会等を継続し、後継者育成に努めるとともに玉菊づくりの全町的な取組みを図るなど、町内企業や婦人会等の団体からのご協力とご理解を得ながら菊ま

つりの充実を図り、町の花、菊を生かした町づくりに取り組んでまいりますので、町民の皆さんからも町の花である菊に愛着を持っていただければと思っております。

次に、生涯学習関係事業についてご報告申し上げます。

はじめに、9月30日に長沼で開催いたしました、第34回西川町民カヌー大会について申し上げます。

この大会は、西川町はもとより山形県を代表するスポーツとなっているカヌー競技のまさに原点となっている大会で、町のカヌー競技の普及振興とカヌー関係者の交流を図ることを目的に開催してきております。今年の大会には、小学校1年生から一般成人の方まで66人が参加し、練習の成果を競っております。親子カヌー、兄弟カヌー競技の部などで、楽しく大会が行われたところであり、今後ともカヌー競技の普及振興に努めてまいりたいと考えております。

次に、第49回西川町文化祭について申し上げます。

10月27日から11月4日まで、9日間の会期で、キラリと光る西川の宝、地域と共に育む文化をテーマに、書道、絵画、写真をはじめ、さまざまな作品の展示とステージ発表を開催いたしました。作品点数は近年にない1,068点と多くの出品となり、入場者数も昨年、一昨年を大幅に上回る1,585人を数え、また、3日のステージ発表でも多くの入場者を迎えることができました。出品されました素晴らしい作品群、ステージ発表での様々なジャンルのハイレベルな発表は、町民の方々の芸術文化に対する意識の高さと水準の高さを再確認させる文化祭となりました。それぞれの立場で制作、企画、出演いただきました町芸術文化協議会を中心とする方々、また鑑賞いただきました多くの町民の皆さんに敬意を表し、御礼を申し上げます。

次に、文化祭の時期に併せて開催いたしました、文化講演会について申し上げます。

10月28日にソムリエの第一人者、田崎真也氏を講師にお迎えし、地産地消、地元の食材に誇りを持つというテーマで講演会を開催いたしました。ワインなど酒に関するお話はもとより、スローフードの意義、食育の重要性など、全般的に食に関する講演をいただきましたが、実に幅広い視野でのお話に、来場者は熱心に聴き入っていたと感じております。また、この講演会の前段として町の食生活改善推進員による料理試食会を開催しましたが、田崎さんも試食され、講演でもそのレシピに触れていただくなど、時宜にかなった催しではなかったかと思っております。今後とも適切な芸術文化事業を選定しまして、町

民の皆さんへ鑑賞の機会を提供してまいりたいと考えております。

以上を申し上げます、平成30年第3回臨時議会のあいさつといたします。

伊藤議長 以上で町長あいさつは終わりました。

議案の上程

伊藤議長 日程第5、議案の上程を行います。

議第52号 平成30年度町道沢口向中軸線道路改良工事請負契約の一部変更について。

議第53号 平成30年度西川町一般会計補正予算第5号。議第54号 平成30年度西川町公共下水道事業特別会計補正予算第1号。

以上、3議案を一括上程します。

提案理由の説明

伊藤議長 日程第6、提案理由の説明を求めます。

小川町長。

〔小川一博町長 登壇〕

小川町長 ただいま上程されました議案についてご説明を申し上げます。

議第52号につきましては、平成30年度町道沢口向中軸線道路改良工事請負契約の一部変更についてであります。工事を実施した結果、設計の一部を変更して実施する必要があるため提案するものであります。

議第53号につきましては、平成30年度西川町一般会計補正予算第5号であります。既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ642万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ51億8,124万2,000円といたすものであります。

歳出から申し上げます。第8款土木費につきましては、西川浄化センター脱水機主要部品更新工事に伴う公共下水道事業特別会計繰出金642万6,000円を追加するものであります。

歳入につきましては、第9款地方交付税642万6,000円を追加するものであります。

議第54号につきましては、平成30年度西川町公共下水道事業特別会計補正予算第1号であ

ります。既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ642万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ1億7,910万1,000円といたすものであります。

歳出から申し上げます。第2款施設費につきましては、西川浄化センター脱水機主要部品更新工事を行うため、642万6,000円を追加するものであります。

歳入につきましては、第4款繰入金642万6,000円を追加するものであります。

以上ご説明申し上げましたが、詳細につきましては、担当課長に説明いたさせますので、よろしくご審議の上ご可決賜りますようお願い申し上げます。

議案の審議・採決

伊藤議長 日程第7、議案の審議・採決を行います。

議第52号 平成30年度町道沢口向中岫線道路改良工事請負契約の一部変更についてを議題とします。

議事係長に議案を朗読させます。

〔議事係長 朗読〕

伊藤議長 担当課長の補足説明を求めます。

伊藤建設水道課長。

〔伊藤建設水道課長 登壇〕

伊藤建設水道課長 議第52号 平成30年度町道沢口向中岫線道路改良工事請負契約の一部変更についての補足説明を申し上げます。

町道沢口向中岫線道路改良工事につきましては、本年5月、第2回臨時会において、契約の議決をいただき、施工を進めさせていただいております。当初設計においては、掘削法面の処理として、岩盤部以外については種子吹付のみとしておりましたが、土砂掘削の結果、法面の一部に玉石の割合が非常に多い土砂が露出したことから、種子吹付のみでは土壌への植生の活着が望めないことから、玉石雜じり土砂部の法面について、種子吹付工から厚層基材吹付工への変更を行うものであります。

変更額といたしましては、751万1,400円を増額し、変更前の契約額、8,802万円を、変更後の契約額、9,553万1,400円とする変更内容であります。

以上でありますので、よろしくご審議のうえ、ご可決賜りますよう、お願い申し上げます。

す。

伊藤議長 本案に対する質疑を行います。

質疑ありませんか。

〔発言する者なし〕

伊藤議長 本案に対する質疑を終結し、討論を省略し採決します。

議第 52 号、本案を原案のとおり決定することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

伊藤議長 全員起立です。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

議第 53 号 平成 30 年度西川町一般会計補正予算第 5 号を議題とします。

議案の朗読を省略し、担当課長の補足説明を求めます。

佐藤総務課長。

〔佐藤総務課長 登壇〕

佐藤総務課長 議第 53 号 平成 30 年度西川町一般会計補正予算第 5 号につきまして、補足説明を申し上げます。

お手元の、議案書の予算書をご覧いただきたいと存じます。

既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ 642 万 6,000 円を追加し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ 51 億 8,124 万 2,000 円といたすものであります。本議案につきましては、次の議案、第 54 号平成 30 年度西川町公共下水道事業特別会計補正予算第 1 号に関連し、補正を行おうとするものであります。

歳出のほうからご説明申し上げます。予算書の 4 ページの下段、3 歳出をご覧ください。

第 8 款第 4 項第 2 目、公共下水道費につきましては、西川町大字睦合地内の西川浄化センター脱水機主要部品更新工事に伴う、公共下水道事業特別会計操出金 642 万 6,000 円を追加するものであります。

次に、歳入についてご説明申し上げます。同じページの上段、2 歳入をご覧ください。

ただ今、歳出でご説明を申し上げました操出金の財源につきましては、第 9 款地方交付税 642 万 6,000 円を充てるものであります。

以上のとおりでございますので、よろしくご審議の上、ご可決を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

伊藤議長 本案に対する質疑を行います。

質疑ありませんか。

〔発言する者なし〕

伊藤議長 本案に対する質疑を終結し、討論を省略し採決します。

議第 53 号、本案を原案のとおり決定することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

伊藤議長 全員起立です。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

議第 54 号 平成 30 年度西川町公共下水道事業特別会計補正予算第 1 号を議題とします。

議案の朗読を省略し、担当課長の補足説明を求めます。

伊藤建設水道課長。

〔伊藤建設水道課長 登壇〕

伊藤建設水道課長 議第 54 号 平成 30 年度西川町公共下水道事業特別会計補正予算第 1 号について補足説明を申し上げます。

既定の歳入歳出予算に、歳入歳出それぞれ 642 万 6,000 円を追加し、それぞれ 1 億 7,910 万 1,000 円とするものであります。

歳出からご説明いたします。4 ページをお開きください。

2 款 1 項 2 目、処理場管理費の工事請負費 642 万 6,000 円を追加するものであります。西川浄化センターの汚泥脱水庫が経年劣化により脱水機能に支障が生じるようになったため、主要部品の更新を行うものであります。

歳入については、一般会計繰入金で対応するものであります。

以上のとおりでありますので、よろしくご審議いただき、ご可決賜りますようお願い申し上げます。

伊藤議長 本案に対する質疑を行います。

質疑ありませんか。

4 番 飯野咲子議員。

4 番（飯野咲子議員） 経年劣化ということですがけれども、こういうような更新工事っていうのは、どれくらいの周期でと言いますか、行われるというようなことでしょうか、お伺いします。

伊藤議長 答弁は、伊藤建設水道課長。

伊藤建設水道課長 主要部品につきましては、通常 15 年というふうなサイクルで行っておりますけれども、ただ、部品、部品の物によりまして、一概に何年というふうな決まりがあるものではございません。ただ、管理事業者等と連絡を密にいたしまして、劣化が認められるものにつきましては、壊れる前、前、というふうなかたちでの機械の更新なり、そういったことに心掛けておるわけでございますけれども、今回の部品については、その部分が少し早く劣化してきたというふうな状況でございます。

また、公共下水道につきましても、長寿命化工事というふうなことで、そういった経年劣化等につきましても対策を練っておるところでございます。

伊藤議長 他に質疑ありませんか。

〔発言する者なし〕

伊藤議長 本案に対する質疑を終結し、討論を省略し採決します。

議第 54 号、本案を原案のとおり決定することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

伊藤議長 全員起立です。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

閉議・閉会の宣告

伊藤議長 以上で、本日の臨時会に付議された事件は、全て終了しました。

会議を閉じ、平成 30 年西川町議会第 3 回臨時会を閉会します。

ご苦労様でした。

〔閉会時刻 午前 10 時 07 分〕